

2025年12月16日

小学生がマイナス196℃の世界を体験
大陽日酸キッズ理科教室を品川区で開催

日本酸素ホールディングスグループの日本産業ガス事業会社である大陽日酸株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:永田研二、以下、当社)は、科学を身近に感じてもらうことを目的に、地域貢献活動の一環として、子ども向け理科実験教室「大陽日酸キッズ理科教室」を11月26日(水)、品川区立後地小学校で開催しました。

子どもの理科離れが社会課題となる中※、当社は2007年より地域の小学校と連携して本教室を継続的に実施しています。当日は、品川区立後地小学校の5年生75名が参加し、マイナス196℃の液体窒素を使った理科実験に挑戦しました。

※ 全国学力・学習状況調査(文部科学省調べ)



-196℃の液体窒素を使った白煙を発生させる実験

実験は、当社社員が講師を務め、バラの花やゴムボールの凍結実験、風船に入った気体を冷やす実験、超電導コースターの実験、白煙を発生させる実験の全4種類を実施しました。児童たちは、日常生活では体験できない現象を間近で観察し、科学の面白さや不思議さに触れることで、理科への興味を高める貴重な機会となりました。

実験後の質問コーナーでは、「液体窒素を固めることはできる?」など、子どもたちの柔軟な発想による質問が相次ぎ、会場は活気にあふれていました。参加した児童からは、「身近なものが一瞬で変化したり、予想と違う答えがたくさんあり面白かった」「空気の中にも(液体)窒素があると知ってびっくりした」「理科がもっと好きになった」といった声が寄せられ、教員からも「実体験を通じて学びが深まった」と高い評価をいただきました。科学への興味や好奇心を育む、貴重な学びの場となりました。

当社は今後も、地域と連携しながら、次世代の理科人材育成やSDGs目標4「質の高い教育をみんなに」の達成に貢献してまいります。

<当日の様子>



バラの凍結実験



超電導コースターの実験

【会社概要】**大陽日酸株式会社**

事業内容：酸素・窒素・アルゴン等各種産業ガス、LPガス、医療用ガス、特殊ガスの製造・販売及び溶断機器・材料、各種ガス関連機器、空気分離装置の製造・販売、電子部品の組立・加工・検査、設備メンテナンス

創業：1910年10月30日

設立：2020年2月4日

資本金：15億円

株主：日本酸素ホールディングス株式会社（出資比率100%）

売上収益：4,268億円（2025年3月期大陽日酸グループ連結）

本件に関するお問い合わせ

大陽日酸株式会社

東京都品川区小山 1-3-26

広報部

TEL:03-5788-8015

Mail:Tnsc.Info@tn-sanso.co.jp